

# 子ども時代は2度と来ない・・・だから とびっきりの「子ども時代を」

今、私たちは大変困難な子どもたちの状況に直面しています。ここに至るまで、日本社会は経済優先・閉鎖的な個人主義といった大人社会をつくり、その社会を反映して子どもたちまでゆとりを失い、子どもらしい夢や希望を持ちにくい世界へおいこんでしまいました。

相次ぐ子どもたちの心痛む事件は、何よりも人間関係の基本となる、人と人のかかわりあいの中で、人間らしい感性を身につける社会的な体験が不足していることを教えてくれています。今を生きる子どもたちにとって「子ども時代」こそ、多くの仲間との体験や失敗の体験、心搖さぶられる芸術・感動体験が不可欠の要素です。子どもたちは様々な経験の積み重ねの中から、自分の考えをありのままに表現し、他との違いを認識でき、相手の気持ちを理解する力を自ら獲得していきます。

子どもの権利条約では、子どもたちの最善の利益を守る立場から「意見表明」「表現の自由」などの権利をうたい、子どもを人格ある社会の一員として位置づけています。また、「休暇・余暇・遊びや文化的生活、芸術に参加する権利」〔31条〕が、子どもたちの創造性・主体性を養う上で重要だと掲げています。特に31条は、子どもたちの日常生活になくてはならないものとして意識されるようになりましたが、現実は不十分な状況にあり、よりきめ細かな環境整備や支援施策が望まれます。

特定非営利活動法人子ども劇場千葉県センターでは、県内や全国の子どもと文化にかかわる諸団体や行政、及び様々な人とともに、子どもたちの感性を感じとり、子どもの社会的価値を発見する機会を創ると同時に、子どもたちの自らがそのことを自覚していくような場や機会を創ります。また、子どもたちに声を聴き、その声を社会に届けながら「子どもと大人の共同参画」をめざして活動をすすめます。

(設立趣意書より抜粋)

## 子ども劇場千葉県センターの概要

- 1988年11月 千葉県子ども劇場おやこ劇場協議会発足  
1998年6月 子ども劇場千葉県センターに改組  
1999年5月28日 特定非営利活動法人設立  
2013年12月6日 エクセレントNPO市民賞ノミネート表彰される  
2020年3月19日 「千葉日報地域きずな賞」受賞  
2022年11月1日 令和4年度千葉県教育功労者表彰  
● 運営・しくみ  
1. 会員・団体・個人正会員、賛助会員、ボランタリー会員  
2025年6月現在 団体正会員 21 個人正会員24  
賛助会員15 ボランタリー会員 168  
2. 理事 19名 監事 2名  
通常総会毎年1回 理事會隔月開催

子どもは社会の財産です。子どもが心豊かに人間らしく育つためにご支援ください。

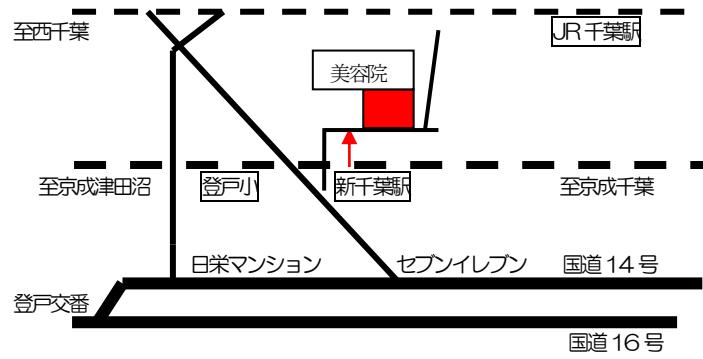
★ 賛助会員

個人会費	年会費	一口 5,000円
団体会費 (NPO)	年会費	一口 5,000円
団体会費 (企業)	年会費	一口 10,000円

★ 年会費は郵便振替で下記の口座まで

00150-9-415192 子ども劇場千葉県センター

賛助会員の方には、「ぐるっと房縦」送付と活動をご案内します。



京成新千葉駅下車徒歩1分 改札を出てすぐの踏み切りを右に 路地をすすみ美容院隣

特定非営利活動法人 (NPO 法人)

# 子ども劇場千葉県センター

千葉県内の子どもの発達権を保障する  
生活文化環境を創ります。

わたしの子どもから

わたしたちの子どもたちへ



特定非営利活動法人 子ども劇場千葉県センター

〒260-0031 千葉県千葉市中央区新千葉  
2-17-6 サンコート新千葉102号  
TEL:043-301-7262 FAX:043-301-7263  
E-mail kidchiba@lily.ocn.ne.jp  
URL <https://chiba.geki.jou.org/>

# 事業のごあんない

## 舞台芸術・文化・体験活動の普及推進事業

### 出前で届ける子どものあそび\*アート\*交流体験 2025

子どもの体験・交流の機会、外で体を使って遊ぶ。プロのパフォーマーによる参加型ワークショップ。2024年度：佐倉市 船橋市 松戸市 2か所 市川市の5か所；こま・けん玉あそび 表現遊び ダンス 2025年度：佐倉市 松戸市 市川市 船橋市 八街市 2024年度までの実績：98か所 173回

子どもの参加者数：4,157人

### 文化庁委託「令和7年度学校における文化芸術鑑賞・体验推進事業」～芸術家の派遣事業～

県内の小学校や特別支援学校に、一流の芸術家を学校に派遣し、実技披露、実技指導を実施するものです(体験型ワークショップ)。子供たちの豊かな創造力・想像力や、思考力、コミュニケーション能力などを養うと共に、優れた文化芸術の創造に資することを目的とした事業です。総合的学習の時間、国語、音楽、図工など教科の授業として行います。

平成27年度～平成30年度まで255校、令和元年度は77校、令和2年度80校、令和3年度92校、令和4年度91校、令和5年度26校、令和6年度35校、令和7年度32校予定

10年間の実績 656校 子どもの参加者数：27,810人

## 子どもの居場所・社会参画事業

### ■ チャイルドライン千葉

携帯からもかけられます

- 全国統一フリーダイヤル  
**0120-99-7777** 毎日 16:00～21:00
- ネットでんわ  
毎週 月曜・第1木曜 16:00～21:00
- チャット  
毎週 月・火・水・木・金・土曜 16:00～21:00 (年末年始除く)



18歳までの子どもがかける子ども専用の常設電話です。電話を通じて子どもの気持ちに共感しながら心の声を聴き、子ども自身の力で問題解決できるようサポートします。指導や指示はしません。もちろん秘密は守ります。全国どこからでも無料でかけられます。

### チャイルドラインの約束

★ヒミツは守る。★名前は言わなくていい。★イヤだと思ったらきつていいい。

## 親・家庭を支える子育て支援事業

### ■あなたをひとりにしない・させない「ママパパラインちば」

**043-204-9390**

商標登録済

子どもを持つ親・家庭の子育ての悩みや不安を、共感的に受け止め、傾聴する電話です。研修を積んだ受け手ボランティアがやさしくお聞きし、子育てが前向きに楽しめるよう応援します。

(毎週金曜日 10:00～16:00 開設 年末年始除く)

#### ● ママパパライン全国キャンペーン

2026年2月2日(月)～2月7日(土)

#### ● 全国7箇所で開設しています。

北海道 仙台 福島 千葉 東京 名古屋 兵庫



## 病気や施設の子どもが笑顔になる贈り物事業

長期入院や通院している子どもたちにプロによるパントマイムやクラウン・人形劇や音楽、小児病棟の子どもたちのため



に開発されたワークショップなどを届けます。子どもの笑顔が溢れ、QOL向上とワクワクする楽しいコミュニケーションの場を創ります。合わせて、親・家族もほっとする時間を創ります。

(実績) 千葉県こども病院 国府台病院 松戸市立病院 下志津病院 千葉大学医学部附属病院 千葉東病院 成田赤十字病院 東邦佐倉病院 東京女子医大八千代医療センター 君津中央病院 千葉県千葉リハビリテーションセンター 千葉市海浜病院。

病院だけでなく、児童福祉施設、児童養護施設などにも、参加型のワークショップや、パフォーマーを届けています。

(実績) 中央・柏・市川・銚子・東上総・君津児童相談所 千葉市児童相談所 乳兒や児童の児童養護施設7か所。

2024年度：22か所 (病院5 放課後等デイサービス5 児童相談

所7 児童養護施設5)

2025年度実施予定：22か所

(病院7 児童相談所7 児童養護施設5 放課後等デイサービス3)

17年間の実施実績：104か所 282回

子どもの参加者数：10,869人

## 市町村行政との連携事業



### 文化芸術を活用した連携と協働の子育て支援事業 「0歳～2歳児と養育者の笑顔withあーと」

将来生きる力の基本となる『非認知能力』を身につける最適な時期は「乳幼児期」であることに着目した事業です。乳幼児の驚くような発見と、親子の愛着形成につながるアートやふれあいあそびやワーク等を、行政と連携して実施します。

☆市町村と連携し、子育て支援プログラムとして芸術的アプローチの有効性を拡げる。

☆市町村と連携し、プロのパフォーマーによるわらべうた、人形劇、ダンス、歌などのワークショップを届ける。施設支援者スタッフのための支援力向上講座の開講

[2020年度から2024年の5年間の実績]：延べ43市2町 104か所 乳幼児とその親・大人の参加者数：3,168人

## 専門性をもつ人材養成事業

- チャイルドライン・ママパパライン受け手養成講座
- NPOリーダー研修会

## 子どもや子育て講座・NPOサポート事業

- ① チャイルドライン・ママパパラインから見える「子育てのヒント」
- ② チャイルドラインから見える子どもの状況
- ③ NPO運営 会計基準 年度末書類作成等、相談やサポート

## 情報・出版事業

子どもの文化情報紙「ぐるっと房総」を、年3回発行します。

## 私たちも応援しています

### 佐藤 好範(千葉県小児科医会 会長)

私たちは(特)子ども劇場千葉県センターの活動に賛同し、応援します。千葉県の子どもたちが健康でのびのび大きく育ってくれることを祈っています。子どもたちが、ここで生まれ、育って幸せだったと思える千葉県になるように力を合わせて頑張りましょう。